

笠間市社協 宍戸支部だより

第137号

令和7年6月19日発行

発行 笠間市社協宍戸支部
市毛 正明
編集 宍戸支部広報委員会
印刷 大塩企画

笑顔には 不思議な力が 宿っている — 笑顔と幸せはいつもくっついていきます —



令和7年度運営委員会メンバー

●支部長あいさつ●

はじめまして

今年度より支部長を拝命しました市毛正明と申します。令和元年より社会福祉協議会宍戸支部青少年健全育成委員会の一員として活動してまいりましたが、宍戸支部の中では一番若い自分がまさか支部長にという思いでいっぱいです。これも高齢化の影響かと自分を納得させました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、社協宍戸支部では先日の運営委員会で「福祉とは何」という話題で盛り上がりましたが、いざ考え直してみるとなかなか納得のいく回答が得られないということで結論まで至りませんでした。そこで、いまはやりのAIで調べてみると「人々が幸せに生活できるよう、国や自治体、様々な団体が協力して、社会全体で支え合い、生活の質を高めるための取り組みのこと」「皆が安心して、自分らしい生活を送れる社会を築くための活動」とのこと。そのための具体的な活動としては高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、母子・父子・寡婦福祉、保健医療福祉などがあるようです。

宍戸支部に入りたての頃にある先輩委員さんに「なぜこの活動をしているのですか？」と伺ったところ、「人のためではなく自分のため、自分の識見向上を図るためだ」とおっしゃっていました。自分が何のために活動を始めたのか疑問に思っていたところでしたので、非常に腑に落ちたと感じました。それ以降、やりがいを見いだせるようになってきました。

一昨年には広報委員長さんから社協宍戸支部への入会の勧めがプロモーションビデオでも呼びかけがありました。が、全く反応がありませんでした。残念なことですが、各種団体の存続の危機があちこちで聞かれますが、社協宍戸支部では一緒に仲間として活動される方を常に募集しておりますので、どうぞ気軽にお声掛けいただければ幸いです。

令和7年度事業計画方針

笠間市社協宍戸支部は、笠間市で唯一活動の拠点である支部会館を有しています。当支部はその利便性を十分に生かし、青少年健全育成委員会、女性部、こぶしの会、広報委員会などの専門委員会が中核となり、子どもから高齢者まで幅広い事業を推し進めて参りました。

今後さらに、組織を充実し各関係、各種団体との連携を図り、宍戸地区の皆様の協力を得ながら、地域に密着した事業を推進して参ります。



4/19 代議員会



5/15 運営委員会

（支部役員）			
支部長	副支部長	会 計	書 記
市 毛 正 明	前 嶋 晃 司	土 田 明 嗣	関 上 信 昭
川 上 信 昭	芝 沼 茂	和 田 博 美	細 田 義 人
伊 東 勝 男	雨 谷 高 市	中 町 星 山	旧 陣 屋 2
旧 陣 屋 1	旧 陣 屋 1	松 山 団 地 1	橋 爪 2
旧 陣 屋 2	上 町 2	松 山 団 地 2	旧 陣 屋 2

施 策

- 1 地域住民とともに社協活動への理解を深め、会員の確保に努める。
- 2 区長会、民生委員・児童委員協議会及び高齢者クラブとの連携を図る。
- 3 笠間市社協との連携を強化し、他支部との交流を進める。
- 4 福祉推進員の資質向上に資する研修会及び視察研修を実施する。
- 5 児童福祉事業の充実を図る。
 - (1) 小学校との連携を密にした学校事業への協力
 - (2) 子ども会、スポーツ少年団活動等への援助
 - (3) 地域の教育環境整備活動に協力
- 6 災害等発生時における地域への貢献に努める。
- 7 社協宍戸支部会館を会場とする「介護予防の運動・体操教室」に協力する。
- 8 各専門委員会の事業
 - (1) 青少年健全育成委員会
 - (ア) 青少年健全育成及び安心して住める地域を目指す「地区懇談会」の開催
 - (イ) 「小学生夏休みわくわく体験」の実施
 - (ウ) 宍戸小学校に対するサポート（そろばん学習）
 - (エ) 宍戸小学校読み聞かせボランティア活動
 - (2) 女性部
 - (ア) 高齢者を対象とした毎月1回の「配食サービス」を実施
 - (イ) 福祉意識高揚を目指した「福祉バザー」の開催
 - (ウ) 女性部員の特性を生かした「手づくり会」の実施
 - (エ) 資質向上に資する研修会及び視察研修の実施
 - (オ) 宍戸小学校に対するサポート（ミシン学習）
 - (3) こぶしの会
 - (ア) 「配食サービス」の宅配と、高齢者との交流活動の実施
 - (イ) 高齢者によるグラウンドゴルフ大会（年2回、宍戸地区高齢者クラブとの共催）の企画・運営
 - (ウ) 高齢者を対象とした市外研修会（自然観察会）の企画・運営
 - (4) 広報委員会
 - (ア) 「宍戸支部だより」第137号～138号の発行
 - (イ) 研修会及び視察研修への積極的参加
 - (ウ) 広報関係諸団体との交流促進
 - (エ) コミュニティボードの企画・運営、維持・管理

穴戸小学校の思い出



橋爪

酒井 葉都美



私は保育所から穴戸小学校に入学しました。環境も変わり不安でしたが友だちや先生方、高学年のお兄さんお姉さんがたくさんはなしかけ遊んでくれたりしたので、徐々に不安も消え、学校生活に慣れていくことができました。

また、三年生からは一クラスだったので仲良しの友だちもでき楽しく過ごすことができました。一番思い出に残っているのは、六年生で行った日光遠足です。自分たちで計画を立て東照宮を見学したり美味しいものを食べ歩きたりと、とても楽しい一日でした。

高学年になり、低学年の子たちとたくさん遊び、友だちと様々な経験で成長してきた思い出を胸に中学校でもがんばります。最後に、私たちが安全に登下校できるように毎日一緒に歩いてくれた「あおい安全の会」の方々、本当に感謝しています。ありがとうございました。

たずねてみたら

No.112



叙勲

おめでとーございます

令和6年の「秋の叙勲」で、お二人の方が、長年の功績を評価され、名誉ある勲章を受章されました。広報委員が、お話を伺いました。

瑞宝小綬章



森田和美さん

元美浜郵便局長

森田さんが、最後に勤務された千葉市美浜郵便局の職員数は七百五十人を超える大規模郵便局で、その数は笠間市役所の全職員数に匹敵するそうです。受章祝賀会には数多くの同級生も駆けつけ、少年時代からの人望とお人柄を知ることができました。

瑞宝単光章



磯部幸克さん

陶磁器（笠間焼）製造業従事者

磯部さんは「いそべ陶苑」として10代目にあたるそうです。今回は「伝統工芸品産業振興会」の推薦による受章であること、また、常に熱意をもってお仕事をされていること等を話してくださいました。工房においては、後進の育成にも熱心にあたられ、そのお姿に敬服と感銘を受けました。

ご両人に改めてお祝いを申し上げます。誠に改めてとうございました。

穴戸小学校の校長先生が

変わられました

平成7年度教職員人事異動で、穴戸小学校の教育にご尽力されてきた「山口広美校長先生」に変わり、玉里学園義務教育学校より「渡邊信幸校長先生」が赴任されました。

おしらせ欄



「こぶしの会」総会
(4月4日)



青少年健全育成委員会
「もちもちの会」



で棟2修
項置の
案物の
懸支の
間の部
長いあ
の壁面
を完了
しました。



穴戸支部の
社会福祉協議会
プロモーション
ビデオ

編集後記

新しい年度が前頁で紹介された方々でスタート致しました。編集委員会は同じ顔ぶれですが、気持ちを新たに今年度もいろいろな情報をお届けしたいと思っております。よろしくお願い致します。



安達正男 小川福子 羽生 力
高橋武志 和田博美 穴澤典子
青木恵子 木内久雄(協力員)